

2021年12月15日

キレート剤の国内および輸出価格の改定について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル（社長：和賀 昌之、本社：東京都千代田区、以下「当社」）は、キレート剤（エチレンジアミン四酢酸（EDTA）・ジエチレントリアミン五酢酸（DTPA）・L-アスパラギン酸N、N-二酢酸（ASDA））について、2022年1月1日出荷分より価格改定を実施することとし、以下のとおり、各需要家と交渉に入りました。

## 1. 価格改定品目及び改定幅：

・ EDTA類	国内 35円/KG以上 輸出 300ドル/トン以上
・ DTPA類	国内 35円/KG以上 輸出 300ドル/トン以上
・ ASDA	国内 25円/KG 輸出 200ドル/トン以上

## 2. 実施時期：2022年1月1日出荷分より

## 〔背景〕

キレート剤は国内の洗剤や肥料向けの需要が堅調に推移し、海外では水処理用途を中心に需要が伸張している状況です。

一方供給面では、足元の原油価格上昇に伴い直近の国産ナフサ価格は60,000円/KLを超えるレベルで推移しております。これを受けてEDA・苛性ソーダ・ホルマリンなどのキレート剤の原料価格が大幅に上昇しています。加えて梱包材料、物流費等の諸経費の上昇、近年の働き方改革や設備安全への要求の高まりから製造コストは上昇しており採算が悪化しています。

当社は、生産の効率化などによるコスト低減努力を続けておりますが、現在の原料価格の上昇は自助努力で吸収できる範囲を超えており、このコスト上昇分を価格に転嫁せざるを得ないと判断し、価格改定を実施することと致しました。

以上

本件に関するお問い合わせ先  
三菱ケミカル株式会社 広報本部  
電話：03-6748-7161